

流山市後期基本計画策定に伴う将来人口推計
(平成 21 年度改訂版)
結果報告書【概要版】

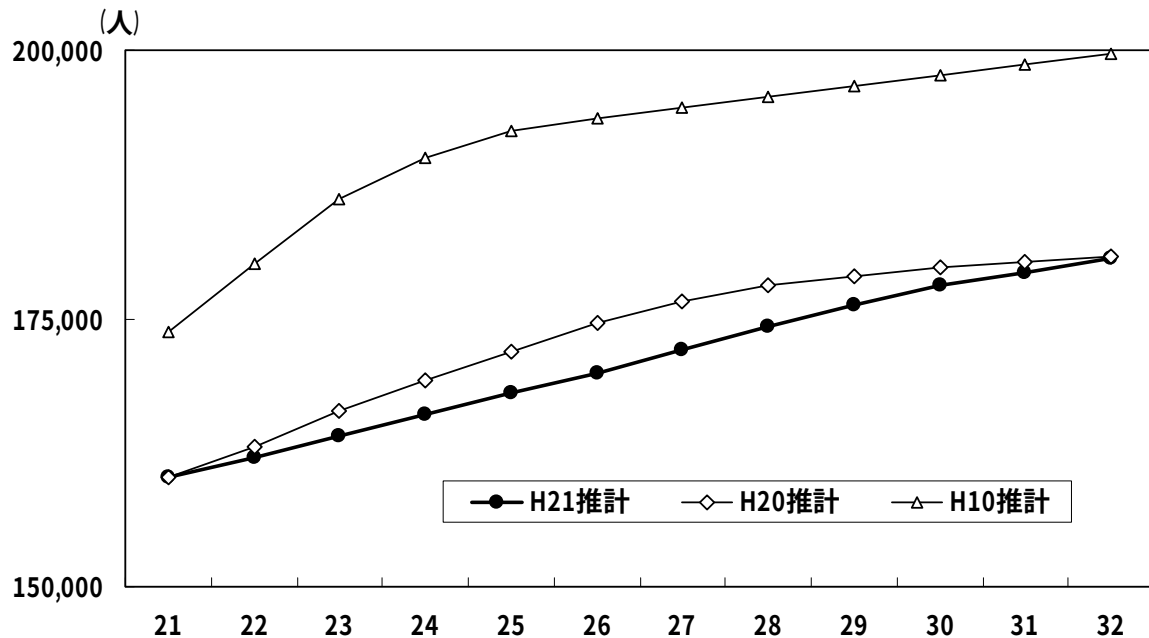
平成 21 年 7 月

流 山 市

1 人口推計結果

(1) 流山市全域の人口推計結果

1) 目標年度までの総人口（T X 沿線開発人口含む）の推移



単位：人

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
H21推計	160,119	162,107	164,101	166,025	168,020	169,882	172,072	174,269	176,306	178,013	179,346	180,630
対前年増減数	—	1,988	1,994	1,924	1,995	1,862	2,190	2,197	2,037	1,707	1,333	1,284
基準年に対する増減数	—	1,988	3,982	5,906	7,901	9,763	11,953	14,150	16,187	17,894	19,227	20,511
H20推計	160,182	163,084	166,409	169,167	171,984	174,589	176,638	178,053	178,974	179,714	180,309	180,786
H10推計	173,682	180,019	186,099	190,050	192,539	193,563	194,586	195,611	196,636	197,661	198,686	199,711

各年 4 月 1 日現在

前回の H20 推計と今回の H21 推計を比べると、平成 32 年はほぼ同じ推計結果となっています。しかし、途中の経過をみると、H20 推計は平成 27 年ころまでの伸びが大きく、その後鈍化していますが、H21 推計では、急激な伸びはなく安定した増加傾向となっています。

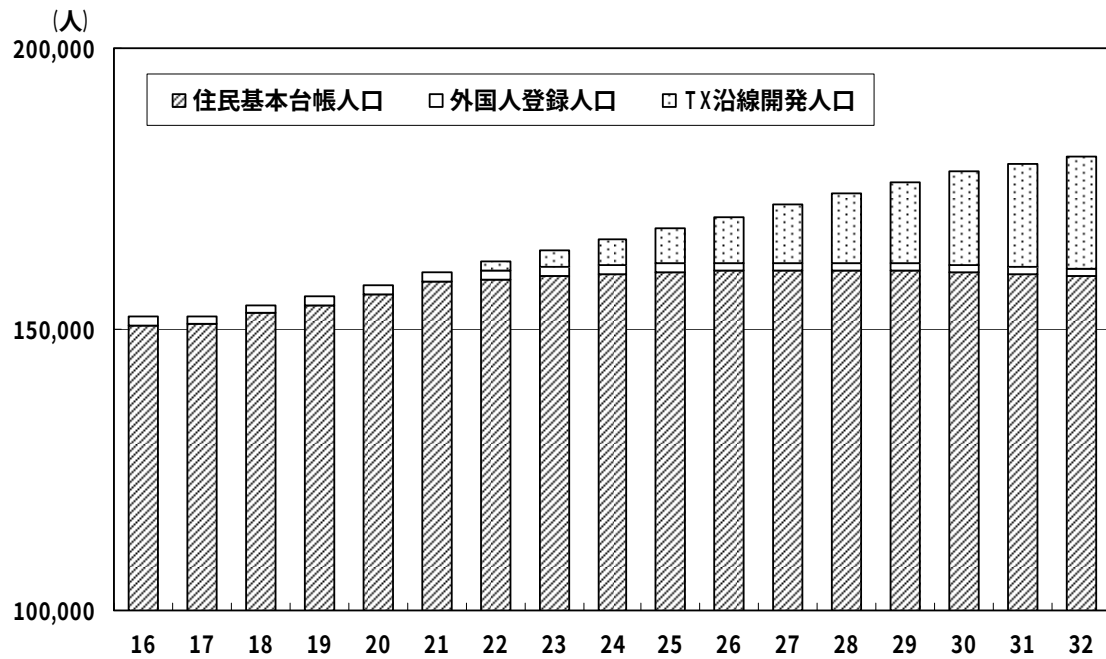
●本報告書では、3 回にわたる人口推計を以下のように表記しています。

『H 2 1 推計』：今回、平成 2 1 年 7 月に行った調査

『H 2 0 推計』：前回、平成 2 0 年 6 月に行った調査

『H 1 0 推計』：基本構想策定時、平成 1 0 年に行った調査

2) 人口の内訳



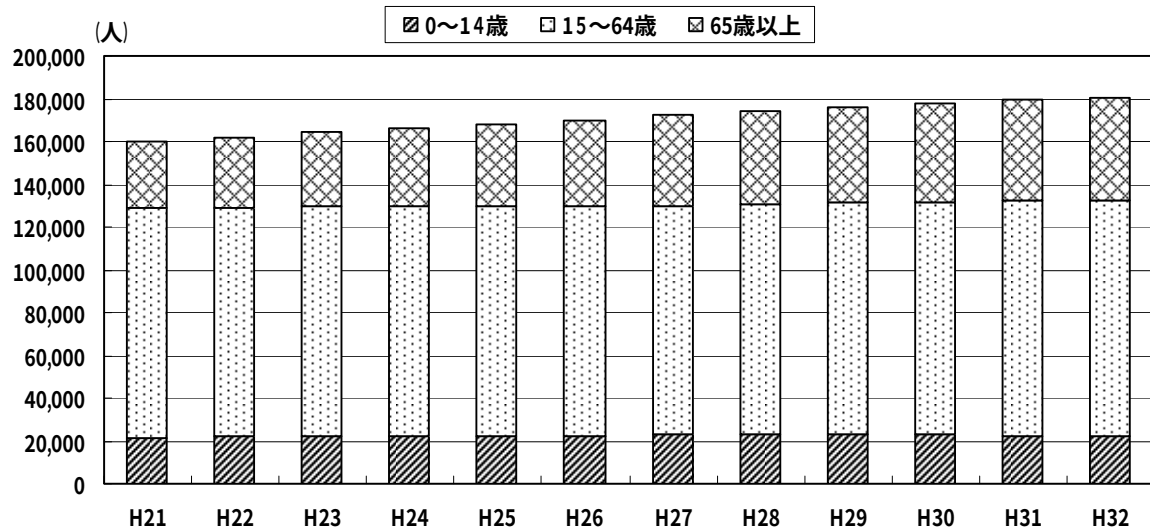
単位：人

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
総人口	160,119	162,107	164,101	166,025	168,020	169,882	172,072	174,269	176,306	178,013	179,346	180,630
住民基本台帳人口	158,426	158,955	159,403	159,804	160,117	160,329	160,448	160,452	160,352	160,186	159,912	159,552
対前年増減数	—	529	448	401	313	212	119	4	-100	-166	-274	-360
外国人登録人口	1,693	1,645	1,614	1,567	1,528	1,489	1,450	1,415	1,382	1,343	1,307	1,271
対前年増減数	—	-48	-31	-47	-39	-39	-39	-35	-33	-39	-36	-36
TX沿線開発人口	0	1,507	3,084	4,654	6,375	8,064	10,174	12,402	14,572	16,484	18,127	19,807
対前年増減数	—	1,507	1,577	1,570	1,721	1,689	2,110	2,228	2,170	1,912	1,643	1,680

各年4月1日現在

3) 年齢 3 区分別人口

【人口の推移】

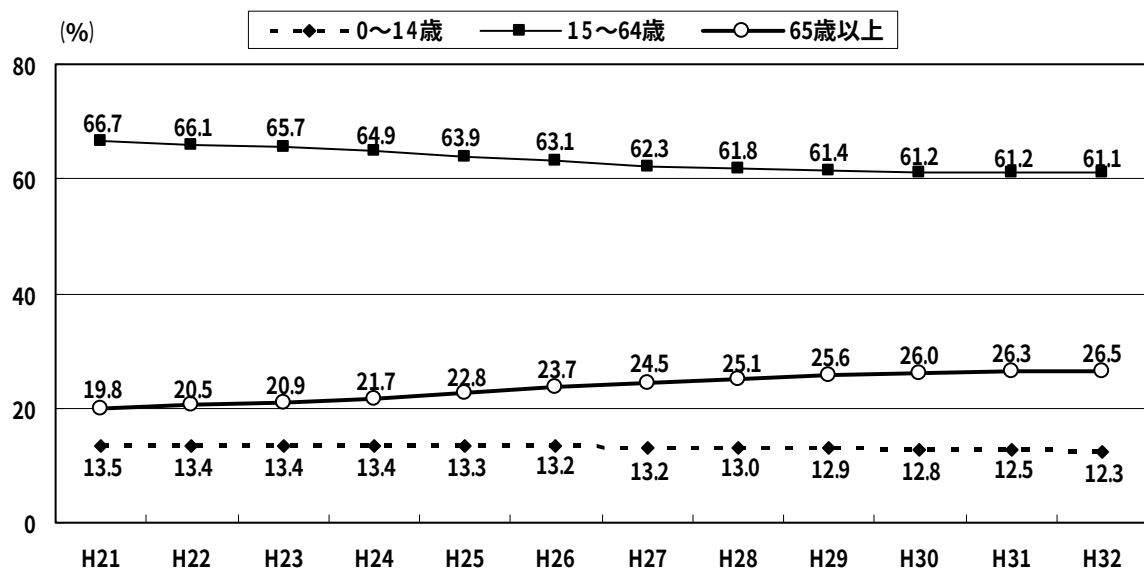


単位：人

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
総人口	160,119	162,107	164,101	166,025	168,020	169,882	172,072	174,269	176,306	178,013	179,346	180,630
0～14歳	21,640	21,789	21,994	22,229	22,418	22,494	22,684	22,725	22,778	22,705	22,496	22,279
対前年増減数	562	149	205	235	189	76	190	41	53	-73	-209	-217
15～64歳	106,850	107,118	107,863	107,828	107,366	107,133	107,183	107,749	108,337	108,987	109,718	110,453
対前年増減数	-53	268	745	-35	-462	-233	50	566	588	650	731	735
65歳以上	31,629	33,200	34,244	35,968	38,236	40,255	42,205	43,795	45,191	46,321	47,132	47,898
対前年増減数	1,879	1,571	1,044	1,724	2,268	2,019	1,950	1,590	1,396	1,130	811	766

各年 4 月 1 日現在

【構成比の推移】



2 推計結果のポイント

流山市後期基本計画策定に伴う将来人口推計(平成21年度改訂版) 結果報告書のポイント

①TX開業効果は、当面続くと考えられる

流山市の人口の推移をみると、TX沿線開発人口を上回る人口増加となっています。

これは、沿線の4地区以外の既成市街地においても、民間によるマンション開発等が行われていることによります。

②景気後退により住宅・宅地供給に遅れが生じている

マンションの未入居が生じており、平成21年5月末時点で、新市街地で270人分、既成市街地で725人分、合計995人分が未入居です。(平成20年度までに供給された20戸以上のマンションのみ。その他の戸建て住宅などは含まない。)

H20推計による平成21年4月1日時点の予測と、実際の人口では63人の違いでありました。仮に未入居のマンションに転入が進んでいれば、実績値が推計値を約900人上回っていたと考えられます。

③景気後退の状況をふまえ、TX沿線開発地区宅地供給の見直し

TX沿線開発による宅地供給は、景気後退の状況をふまえ、見直しを行ったことから、平成31年度までの10年間でも後半に、また、平成32年度以降へも先送りしました。なお、平成32年度以降に先送りしたTX沿線開発人口は1,620人分です。

④平成32年の人口はTX沿線開発地区以外の人口増もあり、H20推計と同様

H20推計は基準年を平成19年とし、今回のH21推計は基準年を平成21年としています。TX沿線開発地区以外の人口増(一方で、マンションの未入居問題が生じていますが。)、外国人の人口増(約300人増えている。)があったことなどから、H21推計においては、TX沿線開発地区の宅地供給を一部先送りしても、平成32年の推計人口は、H20推計とほぼ同様となりました。

⑤ピークは、TX沿線開発地区の住宅・宅地供給の先送り分などで上昇する

ピーク時の人口は、既成市街地におけるマンション開発やTX沿線開発地区の供給計画の見直しなどにより、増加します。

●TX効果を最大限活かす

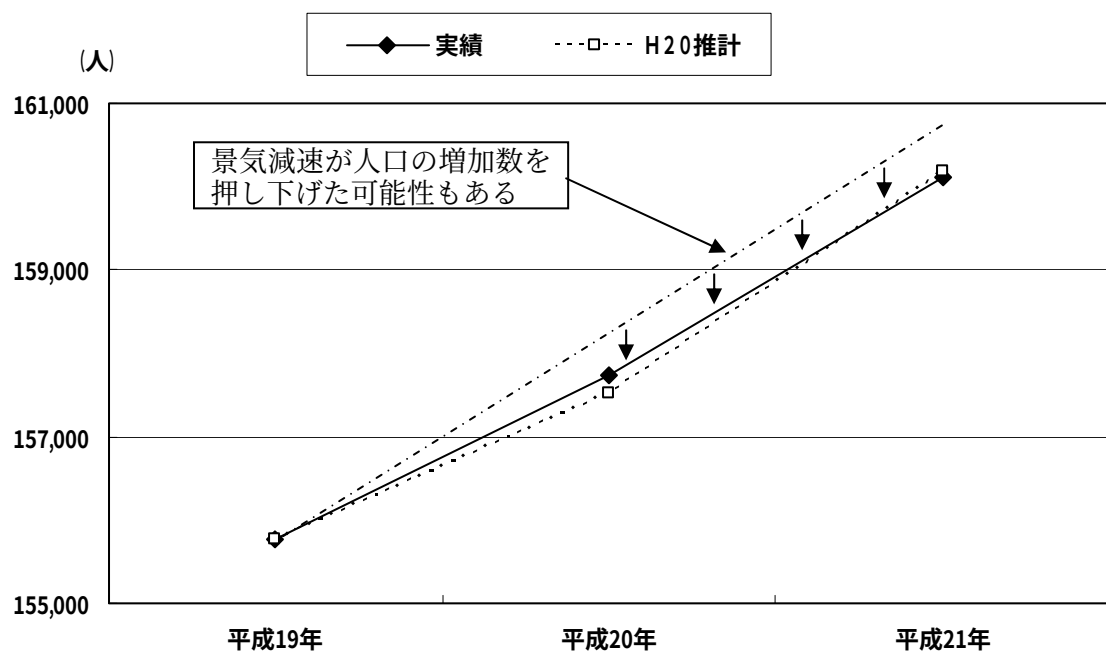
平成17年のTX開業を機に、流山市の人口は大幅な増加傾向となりました。TX沿線開発地区及びその周辺地区で住宅供給が行われた結果によります。平成17年までの実績、すなわちTX効果を加味しない推計を行うと、TXの開発がなければ流山市の人口は、すでに減少傾向に入っていたと想定されることから、流山市の活力、成長を維持するためにはTX沿線整備計画の推進や魅力づくりが欠かせません。

■平成 21 年までの実績と H20 推計との比較

- ・ 平成 21 年の実績は、160,119 人であり、H20 推計の 160,182 人よりも 63 人少なくなっています。
- ・ 景気減速が深刻化する中で、H20 推計と実績値がほぼ一致したことは、仮に景気減速がなければ、実績値に上積みが見込まれたと思われます。

表 H20 推計と実績

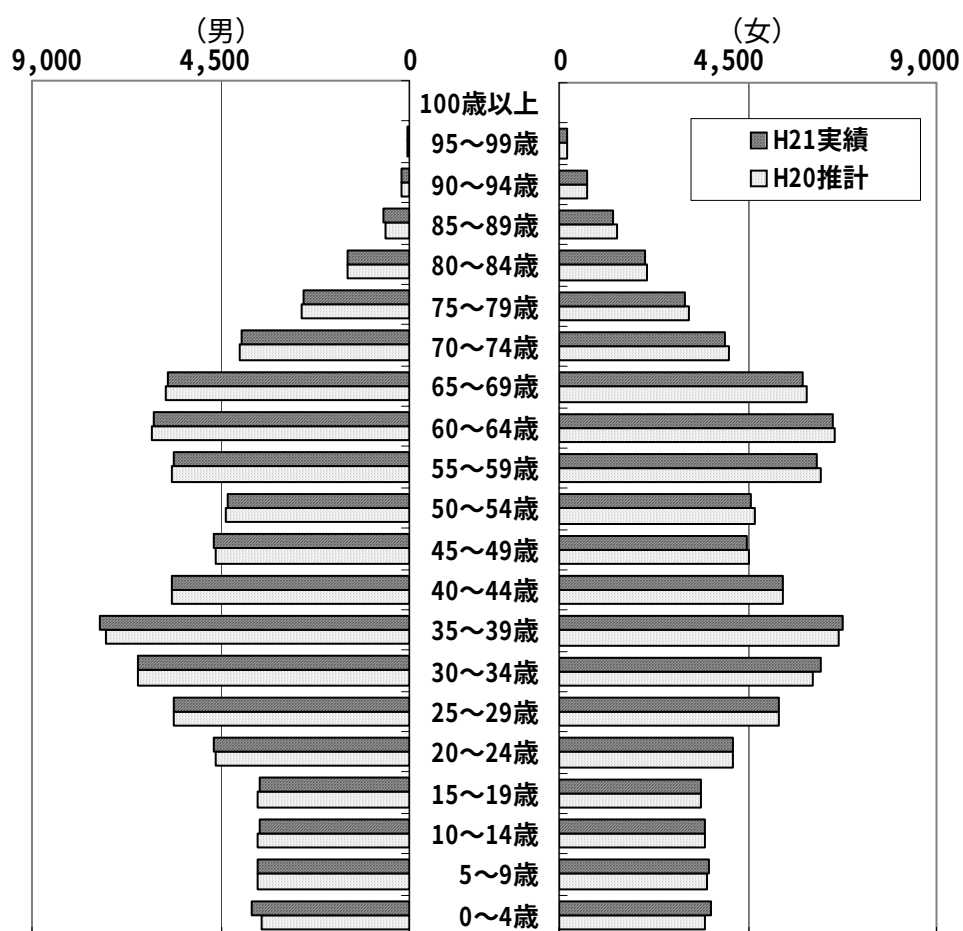
		平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
住民基本台帳人口	実績	154,196	156,073	158,426
	H20 推計	—	155,027	155,780
外国人登録人口	実績	1,583	1,658	1,693
	H20 推計	—	1,593	1,461
TX 沿線開発人口	実績	—	—	—
	H20 推計	—	898	2,941
総人口	実績	155,779	157,731	160,119
	H20 推計	155,779	157,518	160,182
	差	—	213	-63



■人口ピラミッド（平成 21 年 4 月 1 日時点の比較）

- ・ 平成 21 年時点の人口を、H20 推計と実績で比較すると、30 歳代と 4 歳以下は実績のほうが多く、50 歳以上は実績のほうが少なくなっています。30 歳代女性が多いことは出生数が多くなる要因となり、高齢者が少ないことは死亡による減少が少なくなる要因となります。

図 人口ピラミッド(平成 21 年 4 月 1 日時点)



3 人口推計の考え方

(1) 改訂の背景

平成 20 年 6 月に行った「後期基本計画策定に伴う将来人口推計」は、世界金融危機に伴う景気の減速が始まる直前に行ったものであり、今日では社会経済環境が激変しています。

平成 20 年 6 月時点の最大の課題は資源高、エネルギー高などであり、中でも原油価格は平成 20 年 7 月に 1 バレル 147 ドル超にまで急騰していました。一方、日本の自動車やデジタル家電などの輸出産業も好調で、高水準の利益をあげていました。

しかし、平成 20 年 9 月のアメリカの投資銀行リーマンブラザーズの破綻により世界金融危機が顕在化し、また、シティバンクや 3 大自動車会社などの危機も表面化しました。ドルへの信用が失墜したことから円高も進み、好業績をあげていた日本の輸出産業への影響も甚大で、景気の悪化がさらに進んでいます。

景気回復は、平成 22 年以降という見方が大勢を占め、中には、10 年を要するという向きもあります。

このような状況の中、T X 沿線における住宅開発、マンション分譲にも影響が生じてきており、開発計画のずれが検討課題となりつつあります。

平成 21 年 4 月 1 日時点における人口は、H20 推計では 160,182 人であり、実際の人口 160,119 人との差は 63 人ですが、景気の低迷が長期化すれば、差は拡大していくことも想定されることから、人口の見通しに合った後期基本計画を策定するため、H20 推計を改訂するものです。

表 H20 推計と H21 推計の比較

	H20 推計	H21 推計
推計方法	コーホート要因法	コーホート要因法
基準年	平成 19 年 4 月 1 日	平成 21 年 4 月 1 日
T X 沿線開発人口	推計時点の開発計画による。	社会経済動向及びマンション販売の状況等を踏まえて、開発による定着人口を一部見直し、後期基本計画期間中の後半、及び平成 32 年度以降への比重を高くした。

(2) 推計の方法

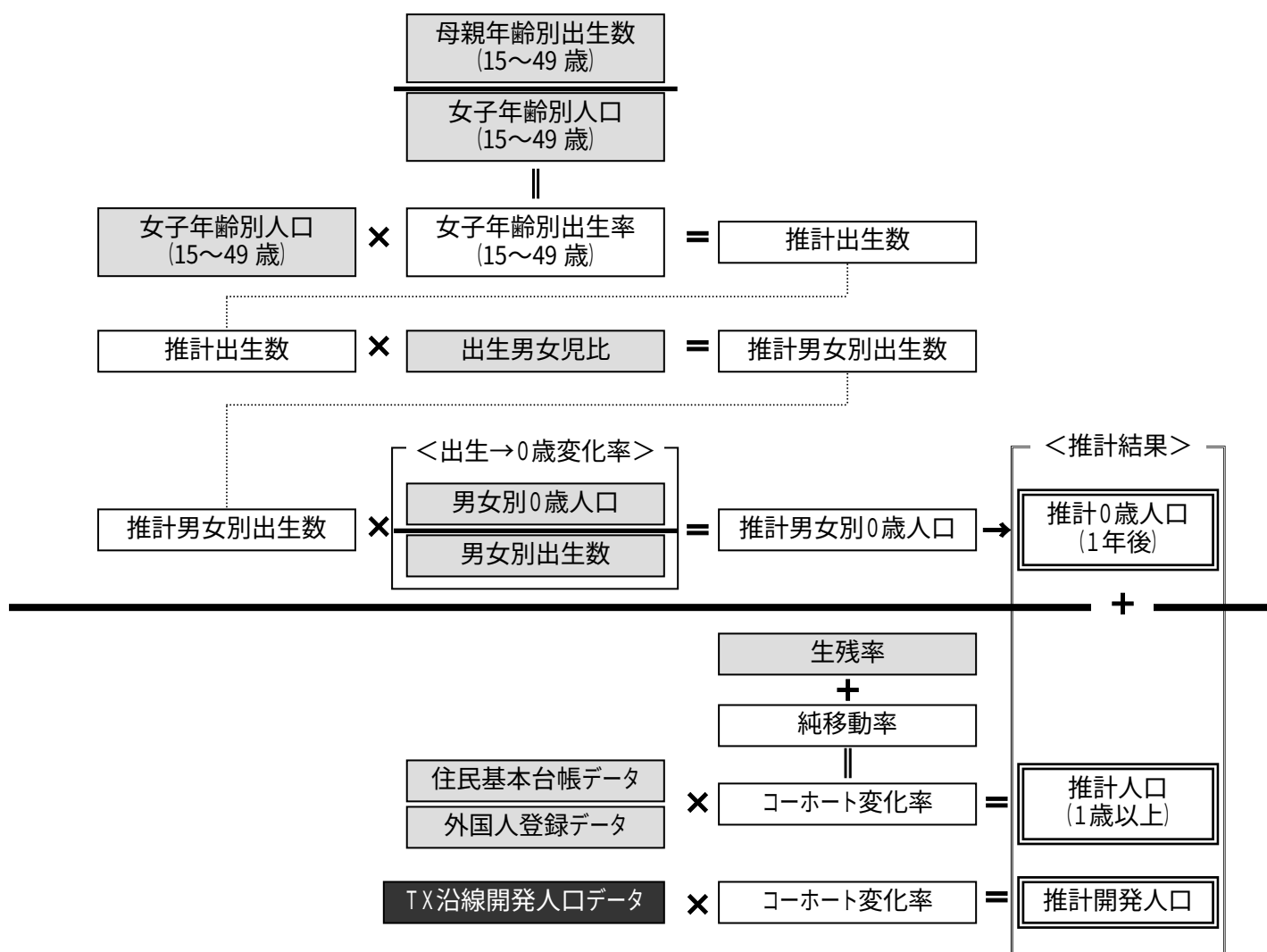
① コーホート要因法について

コーホートとは、同年（同期間）に出生した集団のことで、コーホート要因法とはコーホートごとに出生、死亡、移動による変化率を求め、将来人口を推計する方法です。

出生については、母親の年齢別出生数から5歳階級別女性人口に占める出生数の比率（出生率）を求め、過去の実績値に基づいて将来出生率を設定します。

死亡、移動による変化については、過去のコーホート別の人口推移と簡易生命表（生残率）から設定します。

図 コーホート要因法による推計の流れ



②使用する基礎データ

将来人口の推計に際しては、基本的に以下のデータに基づいて推計を行います。また、出生数や開発・整備計画については、関係各課と調整のうえ、整合性を図っています。

- 住民基本台帳による 4 地域別人口データ
 - ・過去 4 年分の 4 月 1 日現在の 4 地域別人口
 - ・性・年齢（各歳）別
- 外国人登録による 4 地域別人口データ
 - ・過去 4 年分の 4 月 1 日現在の 4 地域別人口
 - ・性・年齢（各歳）別
- 出生数（千葉県衛生統計）
 - ・過去 3 年分の母の年齢 5 歳別出生数
 - ・男女別
- 死亡数（千葉県衛生統計）
 - ・過去 3 年分の年齢 5 歳別死亡数
 - ・男女別
- 簡易生命表（厚生労働省のデータ）
- 開発・整備計画（まちづくり推進課所管データ）

※ 平成 17 年に T X が開通して、平成 17 年度から 19 年度にかけて大幅な人口増となりました。人口増は、T X 沿線開発地区のほか、既成市街地においても生じています。移動率には、これら平成 17 年度から 19 年度の T X による効果が含まれます。

③推計期間

平成 21 年（4 月 1 日）を基準に、平成 22 年（4 月 1 日）から平成 32 年（4 月 1 日＝平成 31 年度末に読み替え）までの将来人口を推計します。また、参考として、平成 33 年（4 月 1 日）から平成 42 年（4 月 1 日）までも合わせて推計します。（すべて 4 月 1 日時点）

(3) 推計作業の概要

人口推計作業は、以下のステップで実施しました。

Step1 コーホート変化率の算出

コーホート変化率は、「生残率」と「純移動率」から求めます。「生残率」は簡易生命表の値を利用し、「純移動率」は、住民基本台帳と外国人登録の値と生残率を利用することで算出します。

住民基本台帳及び外国人登録は、それぞれの人口データを元に算出しており、また、TX沿線開発人口の変化率については、住民基本台帳の値を利用します。

Step2 将来出生率の設定

出生率は、15歳から49歳までの5歳階級別の女性人口に占める当該コーホートの年齢5歳別の出生数の比率です。5歳階級別女性人口は住民基本台帳の実績値を使用し、母の年齢5歳別出生数は千葉県衛生統計のデータを使用しています。

将来出生率については、過去3年分の出生率の近似式を求め、目標年度までの出生率を算出しました。

なお、外国人登録人口、TX沿線開発人口とも、住民基本台帳人口による出生率を利用します。

Step3 住民基本台帳人口及び外国人登録人口による将来人口の算出（基本人口推計）

1歳以上の人口については、前年の人口に各歳のコーホート変化率を乗じて算出します。

0歳人口については、女性人口の推計値に将来出生率を乗じることで出生数を求め、出生数に0歳人口の変化率を乗じて算出します。住民基本台帳人口及び外国人登録人口、それぞれについて推計します。

Step4 TX沿線開発人口の算出（TX沿線開発人口推計）

直近の進捗状況を加味して調整を図ったTX沿線開発計画（平成21年度に見直し）に基づくTX沿線開発人口（推計値）を使用して各年度のTX沿線開発による純増人口を求め、TX沿線開発の影響を受けるエリアの市域4地域に占める面積比に基づいて、市域4地域にTX沿線開発による純増数を按分します。

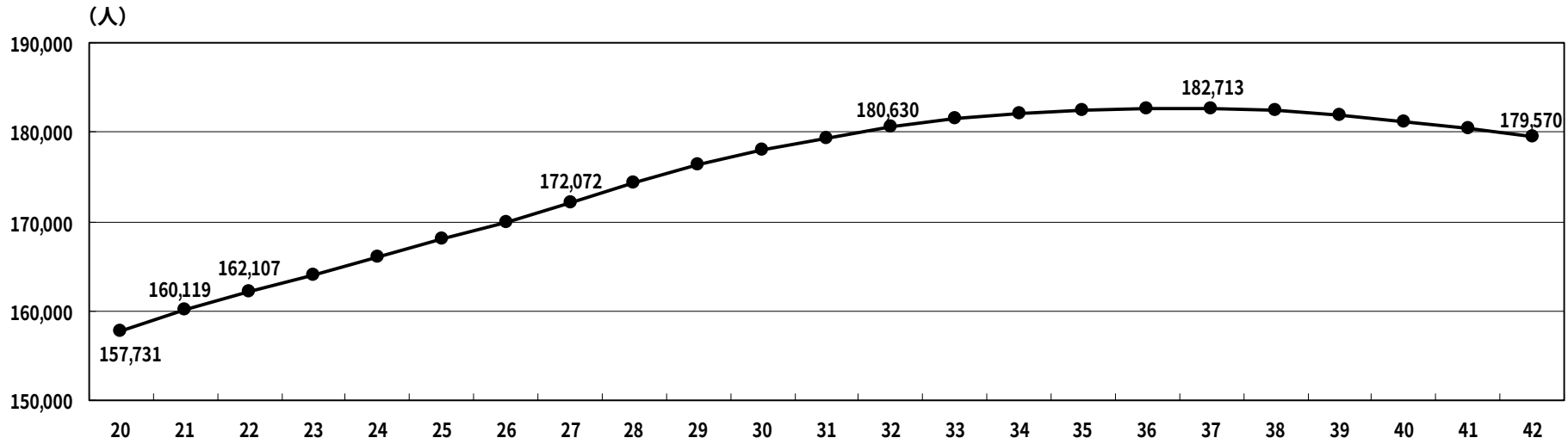
各地域に按分されたTX沿線開発による純増人口については、住民基本台帳人口で算出した各推計年の男女別年齢別の構成比で按分し、基本推計と同様にコーホート変化率を乗じて目標年までの人口を算出します。（0歳人口も同様に算出。）

Step5 流山市将来人口の算出

基本人口推計とTX沿線開発人口推計の結果を加算し、TX沿線開発の影響を踏まえた流山市の将来人口を求めます。

(4) 長期推計結果概要 (参考)

1) 総人口の推移



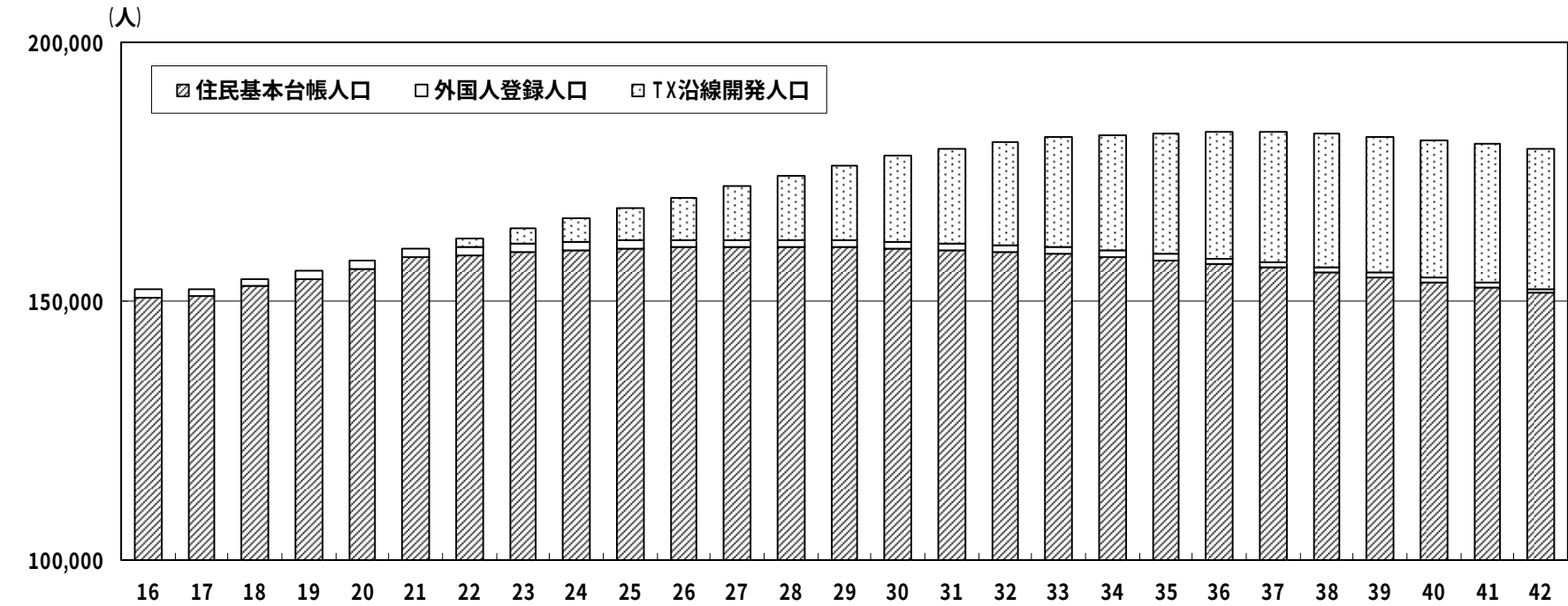
単位：人

	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0	H 4 1	H 4 2
総人口	180,630	181,547	182,130	182,414	182,689	182,713	182,420	181,821	181,129	180,371	179,570

各年 4 月 1 日現在

※今回の人口推計（H21 推計）における前提条件をそのままに長期の推計を行うと、総人口のピークは平成 37 年（H20 推計では平成 34 年）にピークを迎え、以降、減少に転じると予想されます。

2) 人口内訳



単位：人

	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	H 3 6	H 3 7	H 3 8	H 3 9	H 4 0	H 4 1	H 4 2
総人口	180,630	181,547	182,130	182,414	182,689	182,713	182,420	181,821	181,129	180,371	179,570
住民基本台帳人口	159,552	159,081	158,534	157,907	157,194	156,419	155,567	154,648	153,652	152,615	151,544
外国人登録人口	1,271	1,229	1,192	1,152	1,113	1,078	1,041	1,005	971	938	900
TX沿線開発人口	19,807	21,237	22,404	23,355	24,382	25,216	25,812	26,168	26,506	26,818	27,126

各年 4 月 1 日現在

流山市将来人口推計（平成 21 年改訂版）
〔概要版〕

発 行：平成 2 1 年 7 月
発行者：流山市
編 集：流山市 企画財政部 企画政策課